

**令和7年度 第3回南房総・館山地域公共交通活性化協議会 会議報告**

会議の名称	令和7年度 第3回 南房総・館山地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和7年11月25日（火） 15時00分～16時00分
開催場所	館山市コミュニティセンター1階展示ホール
出席者等	<p>&lt;出席委員&gt;20名</p> <p>協議会会長 石井 博臣 委員（館山市副市長）</p> <p>協議会副会長 嶋田 守 委員（南房総市副市長）</p> <p>協議会副会長 伊藤 昌央 委員（千葉県総合企画部 交通計画課 地域公共交通担当課長）</p> <p>代理出席 同課 宮原 翔 様</p> <p>田上 重光 委員（東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長）</p> <p>成田 斉 委員（一般社団法人千葉県バス協会 専務理事）</p> <p>高橋 晴樹 委員（日東交通株式会社 運輸部長）</p> <p>中川 行雄 委員（ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長）</p> <p>代田 憲隆 委員（鏡浦自動車株式会社 代表取締役）</p> <p>本間 裕二 委員（南房タクシー株式会社 代表取締役）</p> <p>代理出席 取締役 川名 隆文 様</p> <p>小澤 利男 委員（日東交通労働組合 安房支部代表）</p> <p>嶋田 敏行 委員（安房土木事務所 調整課長）</p> <p>青木 文男 委員（南房総市住民・利用者代表・三芳地区）</p> <p>本橋 清一 委員（南房総市住民・利用者代表・白浜地区）</p> <p>眞汐 眞一 委員（館山市住民・利用者代表（連合会長）那古地区連合町内会長）</p> <p>庄司 武雄 委員（館山市住民・利用者代表（連合副会長）館山地区連合町内会会計）</p> <p>市野 将英 委員（国土交通省関東運輸局 交通政策部交通企画課長）</p> <p>代理出席 同課係長 坂本 裕介 様</p> <p>菅井 規 委員（関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官）</p> <p>代理出席 松澤 純 様</p> <p>坂井 陽一 委員（館山警察署 交通課長）</p> <p>鈴木 賢二 委員（安房道の駅連絡会 会長）</p> <p>手島 隆 委員（館山市社会福祉協議会 事務局長）</p> <p>&lt;欠席委員&gt;1名</p> <p>為国 孝敏 委員（NPO法人まちづくり支援センター 代表理事）</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>館山市総合政策部 別所部長</p> <p>館山市総合政策部企画課 渋谷課長、宇都木係長、矢代副主査</p> <p>南房総市総務部 座間部長</p> <p>南房総市総務部企画財政課 鈴木係長、忍足主査</p>

	<p>&lt;その他出席者&gt;</p> <p>ランドブレイン株式会社 小久保氏 小更氏 高石氏（交通計画策定支援業務受託事業者）</p>
傍聴人	0人
会議の議題等	<p>&lt;議題&gt;</p> <p>(1) 南房総・館山地域公共交通計画について <span style="float: right;">【協議第10号】</span></p> <p>(2) チョイソコ南房総・館山の実績報告について <span style="float: right;">【報告第3号】</span></p> <p>(3) 公共ライドシェア実証運行の報告について <span style="float: right;">【報告第4号】</span></p> <p>&lt;その他配布資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 席次表</li> <li>・ 南房総・館山地域公共計画実施事業内容</li> </ul>
議事概要及び 発言の要旨	別紙 会議要旨のとおり

別紙 会議要旨

石井会長 あいさつ	<p>日ごろより、当地域の公共交通行政にご理解ご協力をいただき、御礼申し上げます。</p> <p>また、物価高騰や人手不足など社会情勢の変化が公共交通の取り巻く環境にも大きく影響している中、皆様におかれては、住民の移動ニーズに応えるため、日頃より路線維持や利用促進に向けた様々な施策を展開されるなど、ご尽力いただいていることに改めて御礼申し上げます。</p> <p>当協議会では、交通空白の解消を含む移動手段の確保に向けて、チョイソコ南房総・館山や房総ライド、スマホ乗車券など、皆様の協力により様々な施策を実施しているところ。今後も引き続き、皆様との連携や地域の交通モードを有効に活用していくことで、当地域の公共交通を維持・確保していくことが重要であると考えている。</p> <p>前回の会議では、令和 8 年度から令和 12 年度を計画期間とする「南房総・館山地域公共交通計画」策定に関し、地域の現状や課題の整理を踏まえ、基本理念を定めるとともに、本地域が目指すべき姿に向けて、今後 5 年間の基本方針を定めた。</p> <p>本日協議いただくのは、前回会議で定めた基本方針に即した、計画目標や評価指標、目標値及び、具体的な施策の検討になる。実効性の高い計画となるよう皆様からの積極的なご意見を頂戴できれば幸い。</p>
坂本代理委員	<p><b>【協議第 10 号：南房総・館山地域公共交通計画について】</b></p> <p>○協議第 10 号資料の内容について事務局および、ランドブレイン(株)から説明。</p> <p>前回会議にて諮った内容を基に骨子案を作成、内容について説明。質疑を経て、承認された。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回発言した、地域の目指す姿の図式化について対応いただき感謝する。</li> <li>・ 前回定めた方針を基に目標、事業を定めてもらったと思うが、計画目標と基本方針がどのように対応するかが分かりづらいため、関連性を示すと良い。</li> <li>・ 実施事業内容の取組に対して誰が対応するかが分かりづらいこと、実施行程に関して、R8 から R12 まで横線一本のため、検討から実施までのスケジュールを示した方が良い。</li> <li>・ 補助金に関して、幹線とフィーダーは、交付要綱で記載しなければならない内容が示されているため、必要な記載に関して、事務局と調整をさせていただきたい。</li> <li>・ いただいた意見に関しては、今後の検討を進めていく中で対応をさせていただく。また、補助金に関しての記載は計画策定を進めていく中で、改めてご教授いただきたい。</li> </ul>
代田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業 6 観光産業と連携した公共交通利用者の増進に関しての内容は、バスが主になっている。タクシーも二次交通のため、タクシーに関する記載を追加していただけるとありがたい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後計画策定を進めていく中で、タクシーに関する記載の追加を検討させていただく。</li> </ul> <p><b>【報告第3号：チョイソコ南房総・館山の実績報告について】</b></p> <p>○チョイソコ南房総・館山の令和7年4月から10月までの実績について資料を基に報告。</p>
手島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフに関して、令和6年度の実績か、それとも本格運行開始時からの実績か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年4月から10月までの実績。</li> </ul>
手島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チョイソコまるやまの(3)上記利用に関する利用者数は、(2)の実績に対する数字か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年4月からの数字。</li> </ul> <p><b>【報告第4号：公共ライドシェア実証運行の報告について】</b></p> <p>○公共ライドシェア実証運行の報告について資料を基に報告。</p>
田上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 東日本グループとして実証運行に協力させていただいているが、実績を見ると、夜間運行の実績が上がりづらいと思われる。ライドシェアの実証運行については、現在、交通空白時間帯として行っていると思うが、交通空白エリアについても検討して良いのではと考える。和田浦駅や南三原駅では、公共交通が利用できる環境が少ないと思われる。昼間の交通空白エリアでの対応を検討しても良いと思う。</li> </ul>
石井会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田上委員からの提案に関し、交通空白エリアについて事務局より説明を求める。</li> <li>・ 交通空白エリアの定義については、公共交通事業者だけでは移動手段を十分に提供することが困難なエリアで、策定中の計画では鉄道駅から1km、バス停から300mと定義している。また、このエリアについては、日中でもタクシーが恒常的に30分以内に配車不可なエリアもあり、そのような地域では、日中のライドシェアも検討が可能なものとする。</li> </ul>
石井会長 代田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中の運行に関してタクシー事業者の意見を求める。</li> <li>・ ライドシェア実証運行の目的は路線バスの運行時間外や、タクシー稼働台数の少なくなる夜間の公共交通補完を目的で始まったと認識している。実際に、日中、和田浦、丸山、富山エリアへは、電話を受けても配車に時間がかかってしまうという地域が確かに存在する。現状のアプリでは、全域が対象となっており、地域限定であれば検討可能。館山駅からも日中から利用可能となると、タクシー事業や、路線バス事業にも影響は少なからずあると思うため、課題整理は必要と考える。</li> </ul>

田上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々な側面から検討が必要と考える。和田浦、南三原エリアを提案させていただいたが、このエリアから、館山方面に行くことが出来れば、今まで補完出来なかった移動手段が生まれ、逆に館山方面からの帰りのためのタクシーや路線バスの需要が生まれるかもしれない。皆様の意見をいただきながら、引き続き検討を進めてまいりたい。</li> </ul>
石井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件に関しては、事務局に検討させ、次回会議にて改めて諮らせていただく。</li> </ul>
事務局	<p><b>【その他：事務局より】</b></p> <p>11 月 29 日開催の公共交通啓発イベントについて資料を基に報告。</p>
高橋委員	<p><b>【その他：日東交通より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の房日新聞に掲載されたが、一般路線バスに於ける運賃改定申請を行った。1997 年 4 月の改定以来、消費税増税時の改定を除くと、約 28 年運賃を改定していなかった。諸物価高騰や、バス事業を取り巻く環境が大変厳しくなったことから、今後も継続してサービスを提供するために、運賃改定申請を行った。予定日は 4 月 1 日を予定している。11 月 17 日に申請し、認可の関係で前後する可能性があるため、認可が下りたら再度報告する。改定運賃に関しては初乗り 160 円から 30 円値上げして、190 円で申請している。一律 30 円アップではなく、距離に応じて運賃が変わるため、30 円から一番長い距離で言うと、180 円程度の値上げになる予定。今後のサービス向上に向けた取り組みとしては、4 月 1 日から安房エリアでの IC 決済を開始。IC カード乗継割引など、新しい制度を導入し、少しでも割引率を高め、バスに乗って頂く取組を実施していく。</li> </ul>
事務局	<p><b>【その他：次回会議日程について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年 1 月 26 日に南房総市を会場に予定している。改めて委員の皆様にはご案内申し上げます。</li> </ul>